

○義務教育施設適正配置豊小学校区意見交換会 会議録要旨

- 1 日 時 平成30年5月17日（木）午後7時00分から午後8時30分まで
- 2 場 所 豊小学校 図書室
- 3 出席者 豊地区行政協力員・青少年育成市民会議豊支部・豊小学校 PTA 18名
豊小学校 中田校長・平野教頭
学校教育課 飯泉課長・鈴木補佐・石引
- 4 協議内容 ①教育委員会が目指す学校教育について
②適正配置基本計画の考え方について
- 5 配布資料 つくばみらい市義務教育施設適正配置意見交換会資料
- 6 会議録要旨

①教育委員会が目指す学校教育について

学校教育課	市の学校教育目標，市の目指す児童生徒像，3つの基本と2つの方向性について説明。
市民	教育委員会が掲げる目標については，このとおりに進めていただきたい。

②-1 適正配置基本計画の考え方（基本的な考え方）について

学校教育課	市義務教育施設適正配置基本計画の基本的な考え方について説明。
市民	市長が変わり，現段階においては，適正配置計画が具体的にどう変わるのかの回答は，難しいですね。
学校教育課	本日は，市長の就任から4日目ということもあり，現段階において，変更点や進め方等について，具体的に申し上げることは難しいです。しかし，皆さんも新聞等でご存知だとは思いますが，適正配置につきましても，地元の皆さんの意見を十分に聴いたうえで，その方向性を考えていくものであると考えております。
市民	今日の会議は，市長が変わったことによって開催されたのか。それとも，前から計画していた会議なのか。
学校教育課	今回の意見交換会は，市長選挙前から予定されたもので，青少年育成市民会議の方より，情報交換の場を設けてほしいとのご要望を受け開催したものです。
市民	私は，統合は反対です。
学校教育課	反対の理由をお聞かせいただくと大変助かります。
市民	豊小は一クラス20名程度になっている。人数的にもちょうど良いと思う。豊小学校は，昔から穏やかで伝統のある学校である。この学校をなくしてしまうことは寂しい。
学校教育課	ありがとうございます。こういったご意見を私達も参考とさせていただきます。

市民	なぜ、豊小学校で意見交換会を開くのか。先にやらなければならない学校が他にある。
学校教育課	意見交換会は、昨年度も他の学校でも開催させていただいております。その意見交換会の中でも、反対の意見はございますので、回数を重ねて共通理解を図ることが大切だと考えております。
市民	基本計画ということは、今後、この方向で進めていきたいということですか。
学校教育課	本計画は、平成28年3月に策定し、説明会・意見交換会等を行ってまいりました。しかし、各小学校区を一度に行うことは、なかなか難しいため、複式学級が発生している又は発生が予想される学校区を優先して、意見交換会等を進めているところです。
市民	この計画が出来上がった時点で、豊小学校がなくなるという噂が流れた。それによって、人口減につながるということがあると思う。豊地区は、守谷駅・みらい平駅の間で、便利な地区だと思う。そのため、人口が増える又は維持できる地域だと思う。学校はコミュニティの場でもあり、なくなることによって人口が減り、過疎化になり、活気もなくなるということも考えてもらわないといけないと思う。
学校教育課	コミュニティの核として、豊地区に学校が必要であるというご意見は承知しております。適正配置を進めるという観点からご説明させていただきます。学校の施設は地域コミュニティの核として残す必要があると思います。しかし、皆様に対し、学校の跡地の利用についてしっかりと説明ができていないため、学校がなくなることへの不安を抱かせてしまっていると思います。豊地区は、市の中心に近いということもありますので、学校でなくなっても、コミュニティの場としてどのように活用していくのかということが重要になってくると思います。跡地利用について、具体的にお示しできておらず、地域の皆さまを不安にさせてしまっていることにつきましては、申し訳なく思っております。
市民	豊小学校をどうしたら残せるかということを考えてほしい。市の目指す教育目標を実現するためには、人数が多いほうが良いということだけではないと思う。
市民	豊小学校の保護者は、この学校の卒業生が多いのでこのまま続けられればよいのかなと思います。
市民	豊小学校の再編対象校は、豊・谷井田・三島で谷井田小学校に統合ということですが、今後、谷井田地区が人口増加するという見込がない状況ですよね。ということは、一瞬は大きくなるが、市全体として5年後、10年後には人口が減少し、統合後の谷井田小学校も児童数が少なくなってしまうのではないのでしょうか。豊小学校を絶対残してくれということではありませんが、市全体として見たときに人口が増える要素のある地域には、学校を残

	<p>すという考え方も必要なのではないかと思います。豊地区は、守谷駅に近いのですが、そういった地域で住宅を建てることなどへの制約を緩めるなどの対策も必要なのかと思います。そうすることで、人口を増やすことが可能だと思えます。新市長も病院へのバスなど、いろいろ考えていただいています。学校がないところに住居を構えようとは思わないと思います。つくばみらい市として、人口を増加・維持していくこと、そして、そうするためにどうするかということが大切ではないかと思います。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>市内全域から見ますと、既存地区では、減少傾向にある状況です。みらい平地区の人口は増加していますが、いつまでも人口が増加するという事でもないと思っています。国が示す2060年の人口推計では、つくばみらい市でも4万人台になるといわれています。しかし、行政としては、継続して代々住み続けてもらえるようにしていかなければならないと考えております。そのために、学校は必要なんだという皆さんのご意見を上層部に伝えてまいります。</p>
<p>市民</p>	<p>守谷から常総橋を渡れば、土地の価格は半額なので、農業に向かない土地に住宅を建てられるようにすれば良いのではないかと。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>つくばみらい市では、一定の基準によって家を建てられる区域指定という制度を行っています。</p>

②-2 適正配置基本計画の考え方（学校の規模基準）について

<p>学校教育課</p>	<p>市義務教育施設適正配置基本計画の学校の規模基準について説明。</p>
<p>市民</p>	<p>学校規模の基準やクラス20名を超えれば単学級を認めるというのは、文部科学省がいつている規模なんじゃないのか。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>学校規模基準については、文部科学省・茨城県教育委員会の資料等を参考に、当市が考える適正規模をお示ししたものです。また、一学年20名という部分は、学校は地域コミュニティの核でもあることを踏まえ、計画したものです。</p>
<p>市民</p>	<p>人数が多いと揉めることが多い。大人でも誰かがやってくれるという感覚のほうが大きくなると思う。大規模校の保護者と話をすることがありますが、その保護者からは、規模が大きすぎて子どもたちの雰囲気がかめないとか、何かを決めるときも揉めたり、考えない子もいたりすると聞いています。親の目線ではありますが、豊の子どもたちは、一人ひとりが考え、意見を出し合う姿が良くみられる。全員の顔や家の場所を知っている。これくらいの規模であっても、十分、競争心や切磋琢磨する教育はできると思えます。個人的な意見としては、学校としてこの建物を残していただきたい。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>20人程度を確保した集団の中での教育というものも大切であると思えます。</p>

市民	豊地区は、20人程度の児童数が続いており、守谷駅にも近いということもあるので、今すぐ統合ということではなく、10年・20年後をみて判断してほしいと思います。
市民	私は組合立谷原中学校を卒業しましたが、7クラスあり卒業までに話をしたことがない同級生がたくさんいます。数が多いから良いということだけではないと思います。少ない中でも、助け合っていくことのほうが教育として良いのではないかと思います。
学校教育課	20年程度はこのままでよいのではないかというご意見、小規模でもよいのではないかというご意見をいただきました。小規模校、大規模校、標準規模校、それぞれにメリット・デメリットがあると思います。そういったことを踏まえて、皆さんと話し合っ生きていきたいと思ひます。
市民	先生というのは、何人ぐらいの児童を見ることができるのですか。
学校教育課	学級編制については、法律等で基本的なことが定められており、小学1年生では35人、小学2年生から中学3年生までは40人が基本となっています。ちなみに、二学年で16人以下となる場合は、複式学級になるとされています。
市民	学校の先生は、そのくらいの人数を一人で見られるということですか。
学校教育課	可能であると考えます。
市民	私は、子どもたち一人ひとり考え方も、行動も違うので、一人の大人が10人の子どもを見る場合でも、大変難しいと思ひます。一人の先生が何人も子どもを見るということは、市の教育目標を達成できるのかという心配も感じます。
学校教育課	そういったご心配もござひますが、教育委員会の立場としては、その基準に基づいた教育を行っているところではす。
市民	市独自の教育を進めても良いと思ひます。教育にお金がかかるのは仕方ないと思ひます。
学校教育課	参考としてお聞きしたいのですが、皆さんが思ひ、学校の再編が必要だと感じる人数は何人ぐらいですか。
市民	具体的な人数というのは難しい。子どもたちの様子を見て、豊小としては今の人数がベストだと感じています。どれくらいの人数になると問題なのかということは、実際に目にしてみないと分かりません。
学校教育課	教育委員会としては、学校の再編により、教育活動の制約を解消し、より効果的なカリキュラム・指導を進めたいと考えています。また、教職員のバランスのとれた配置により、教員の資質・教育力の向上が図られ、子供たちにとってよりよい教育効果を得られる。また、子どもたちが「何を学ぶか」「何ができるようになるか」「どう学ぶか」ということを自ら考え行動するための選択肢を増やすことができると考えています。

②－3 適正配置基本計画の考え方（学校の適正配置基準）について

学校教育課	市義務教育施設適正配置基本計画の学校の適正配置基準について説明。
-------	----------------------------------

②－4 適正配置基本計画の考え方（統合スケジュール）について

学校教育課 市民	市義務教育施設適正配置基本計画の統合スケジュールについて説明。 今年の新一年生の数が減ったのは、この計画をみて、豊小学校が2年後にはなくなるという噂を信じ、それなら別のところに行くという保護者の話を聞きました。そういったことが原因だと思います。
学校教育課	統合スケジュールはあくまで予定であり、学校再編の時期については、皆さんと話し合いの中で決定していくこととしています。誤解を与えてしまったことについては、申し訳なく思っております。
市民	私の同級生が、豊小学校がなくなるという噂から、守谷に住まいを購入していました。
市民	今日の意見を聴いて、今後、どのようにするのですか。
市民	今後意見交換会を続けることによって、この計画は変わるものなのですか。
学校教育課	計画が変わるのかということではありますが、再検討するにあっては、1年程度の期間はかかるものと考えております。内容については、本日のご意見を、市に持ち帰って、市長への報告はもちろんですが、再検討の材料にさせていただきます。